

オンラインと集合の
初・同時開催!!

TQMセミナー入門コース

第1回：2020年8/26(水)～28(金)

第2回：2021年1/27(水)～29(金)

TQM

“総合的な企業力”を支える
人材と組織のクオリティ

QCからTQMへ

TQM (Total Quality Management) の源流は品質管理 (QC: Quality Control) にあります。かつて、戦後日本のものづくりの品質レベルは、決して高いものではありませんでした。そこで、品質管理に統計手法などによる「科学的アプローチ」を取り入れ、生み出される「結果 (アウトプット)」 (=製品) だけを見るのではなく、それを生み出す「プロセス」 (=製造工程) を改善することで、日本製品の品質を格段に向上させることに成功しました。

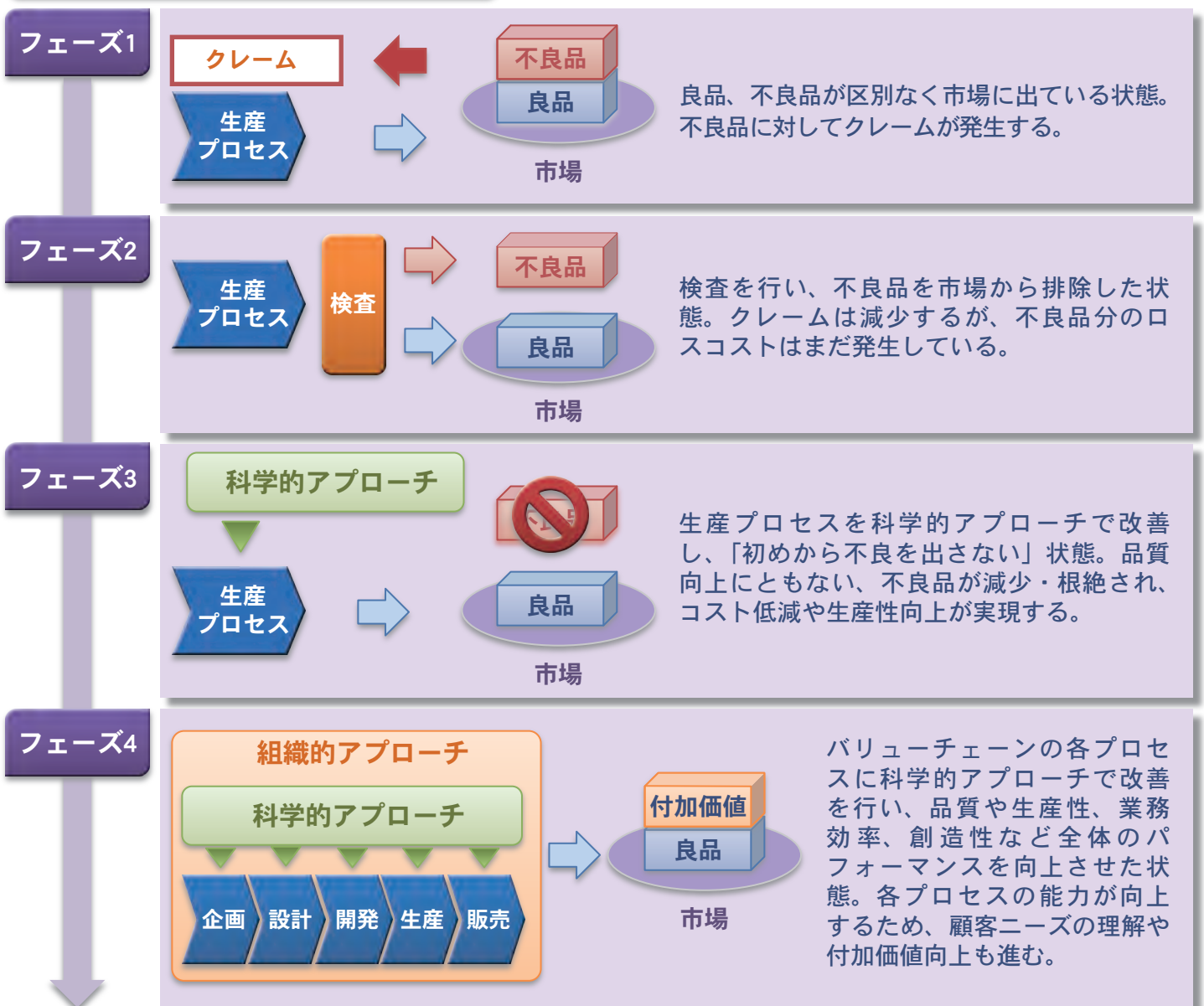
この「科学的アプローチ」や「プロセス重視」という基本的な考え方は、製造部門のみならず、他の部門の業務の改善においても適用可能なものでした。そして、この考え方に、個人の能力向上や組織的な活動を加え、全社的な取り組みに発展させたのがTQMです。

このTQMの実施により、さまざまな部門の水準が向上し、全社的なパフォーマンスや、製品・サービスの品質・価値の向上をはかることができました。

いまや、世界を相手にした競争の中では、ただ単に品質が良い、価格が安いというだけでは生き残れません。変化する市場の中で、いかにしてお客様に共感される価値を生み出すか、が重要なポイントになります。

そのためには、戦略・企画・設計・技術・製造・販売・サービスなど、全ての部門、全社において品質や価値を理解し、それらを生み出そうとする取り組みが必要になります。TQMは、全社で品質と価値を追究するための最適な取り組みです。

QCからTQMへの進化のフェーズ



総合的な企業力の向上

TQMのしくみと効果

1) 3つの対象

TQMでは、企業の最小の構成要素である「ひと＝個人」レベルから、ひとが集まる実質的な事業レベルの「しごと＝業務プロセス」、それらを束ねる「しくみ＝組織・システム」までを対象としています。それぞれを対象にすることで、個人と組織が連動した、全体的な体質改善が可能になります。

2) 3つの視点

TQMでは「顧客志向」「人間性尊重」「利益確保」を基本的な視点にしています。この視点を基軸にして、さまざまな取り組みを行うとともに、全社に対しての動機付け・意識の向上などをはかります。

3) 3つの特性

TQMでは「科学的アプローチ」「プロセス重視」「組織的アプローチ」という特性を持っています。統計学をベースにした各種手法、合理的・効果的に問題解決・課題達成を行う思考フレーム、最適な組織運用を可能にするシステムなど、個別～全体に対する具体的なツールを取りそろえています。

3つの対象	しくみ System	各プロセスに共通の取り組みや、部門間にまたがる取り組み、また会社の方向性の決定と業務への展開など「しくみ」のQualityを高めます。	個人から組織まで トータルな向上
	しごと Process	統計手法や言語データの整理法などを用いることで、それぞれのプロセスで最適な運用法を求め、その維持・向上を通じて「しごと」のQualityを高めます。	
	ひと Human resource	物事への視点や捉え方、思考フレームや手法の習得を通じて、合理的に物事を考え、行動できる人財を育成することで「ひと」のQualityを高めます。	
3つの視点	顧客志向 Customer-oriented	品質はもとより、安全性や信頼性、価格などお客様から求められる価値を追究し、提供します。	自律性・目的性・ 仕事意識の醸成
	人間性尊重 Respect for human nature	はたらく人に負荷をかけるのではなく、主体的な取り組みを助長することによって効率や安全性、企業としてのパフォーマンスを向上させます。	
	利益創出 Creation of profit	顧客志向による顧客関係性の強化、自律的な企業パフォーマンスの向上を通じ、企業の利益創出に貢献します。	
3つの特性	組織的アプローチ Systematic approach	標準化を通じた管理や、個別の取り組みの水平展開、企業方針との整合など、個別最適と全体最適のバランスを取った取り組みを進めます。	科学的な手法・ 方法論の活用
	プロセス重視 Process-oriented	結果のみを求めるのではなく、それを生み出すプロセスを重視し、その維持・改善を通して安定的かつ効果的に優れたアウトプットを得ます。	
	科学的アプローチ Scientific approach	物事を思い込みや思いつきで処理するのではなく、科学的な手法や考え方の手順、思考フレームを用いることで、より合理的かつ効果的な取り組みを実現します。	

TQMの効果

- ①科学的な取り組みの活用、問題解決力や目的意識の向上
- ②業務プロセスやマネジメント、組織体制のレベルアップ
- ③製品・サービスの品質や付加価値、競争力の向上

経営目標
への貢献

セミナーで学べること

本セミナーでは、TQMの基本を以下のポイントを通して学んでいただけます。

- ① TQMの概要（基本的な考え方、経営における位置づけ・役割）
- ② 顧客満足・品質保証（TQMを通して何を求め、実現していくのか）
- ③ TQMにおける改善活動（実際の活動の一端）
- ④ TQMの導入・推進（うまく進めていくノウハウ）
- ⑤ 管理の考え方・進め方（マネジメントの要点）
- ⑥ TQM実践事例



実践事例を通して学ぶ効果とノウハウ

本セミナーでは、TQM実践企業の事例発表を2件お聞きいただけます。発表するのはいずれも、日本を代表するTQMの表彰である「デミング賞」「日本品質奨励賞」の受賞企業の導入・推進担当者です。経験者だからこそ語れる生のノウハウをお聞きください。

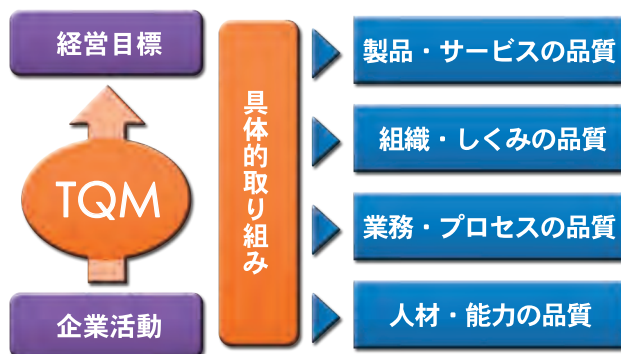
〔2019年度事例発表企業〕

- ① アイホン㈱（デミング賞 受賞会社）
- ② ㈱キャタラー（デミング賞大賞 受賞会社）
- ③ トヨタ紡織㈱ 刈谷工場（日本品質奨励賞 受賞企業）
- ④ ㈱中野製作所（日本品質奨励賞 受賞企業）

こんな方にお勧めです

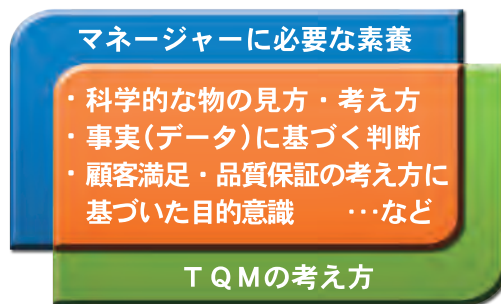
① TQMの導入・推進に携わられる方

TQMの基本や導入・推進のノウハウを学びたい方にお勧めです。



② 新任マネージャーの方

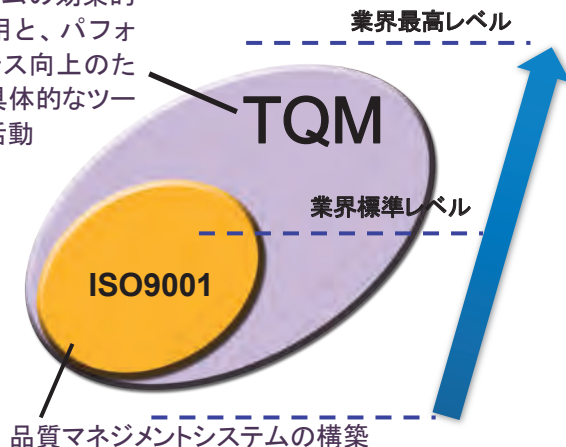
TQMでは、科学的な物の見方・考え方や、事実（データ）に基づく判断など、合理的な考え方を重視します。実は、これはマネージャーに必要な基礎素養と同じです。マネージャーの方々の基礎教育としても本セミナーは有効です。



③ ISO取得後、さらなる改善をお考えの方

本セミナーは、ISO取得企業の方へもお勧めです。ISOによって構築したシステムの効果的な活用や、企業パフォーマンスの向上、利益創出できる体質への改善を考えるなら、ISOの取得を機会に、TQMへと進化させていくのが最適です。

システムの効果的な活用と、パフォーマンス向上のための具体的なツールや活動



TQMセミナー入門コース

ー TQM の考え方、活動内容、進め方を基本から学べますー

キーワード

TQM、総合的品質管理、基礎、考え方、導入・推進、改善活動

対象

対象階層：一般～役員 ／ 対象部門：全般

- ・ TQMの導入を検討されている企業の方
- ・ TQMを推進される方、また自社のTQM活性化をねらう方
- ・ 新しく TQMの推進部門に携わられる方
- ・ 新任マネージャーの方

概要

TQM・品質管理の基本的な考え方や、経営における位置づけ・役割、導入・推進のノウハウと、実施企業の事例をご紹介します。TQM（総合的品質管理）の導入を考えている企業の方、もう一度 TQMの推進について見直したい方、新たに TQM または品質管理の担当になられた方、スタッフ・マネージャーとして基礎知識を習得したい方などにお勧めのセミナーです。

特長

- ・ TQMに初めて触れる方、または、今まで何となくはTQMを理解していたがきちんと学んだことがなかった方、新任マネージャーの方などにお勧めの内容です。
- ・ ①TQMの考え方や位置づけ・役割・効果、②改善活動など実際の取り組み、③TQMの導入・推進のコツ、④TQM実践事例（2件）などを学んでいただけます。

カリキュラム

1 日目 (9:20～18:30)	2 日目 (9:30～18:15)	3 日目 (9:30～16:30)
経営における TQM の役割、顧客満足・品質保証と品質の考え方、TQM 実践事例1	TQM における改善活動、TQM 実践事例2	管理の考え方と進め方、部課における TQM の考え方、TQM の「進め方」、総合質疑

日程・会場 ・参加費(税抜)

回数	日程	会場	参加費
1	8/26（水）～ 28（金）	東京	一般：72,000 円 会員：63,000 円
2	2021. 1/27（水）～ 29（金）	東京	※税抜き

セミナー・データ & 参加された 方々の声

参加目的は
達成されましたか？



- ・ 『TQMとは何か？』という基本から講義がスタートしたので理解しやすかった。
- ・ TQMの概要、考え方を学び実際に改善活動として運用するための要点を学ぶことができた。
- ・ 他社の事例や他社の参加者から情報を持ち帰ることができ、有益であった。
- ・ 基礎知識や考え方が分かった。業務に合わせたやり方で反映させたい。

セミナー内容は社内に
勧められるものですか？



- ・ TQMの主役は“全社員”であることが良く伝わるのでモチベーション向上に非常に良い。
- ・ 他部門に勧めてTQMの利点を理解してもらえば会社の利益になると感じた。
- ・ TQM実践事例の紹介から改めて、各プロセスの重要性を再認識できた。
- ・ TQMの背景となった考え方を“1”から学べる。
- ・ 会社を永続的に向上、維持するための手法だから。

※本データは、2018年～2019年開催コースデータより集計しています。

セミナー会場

日科技連・東高円寺ビル（杉並区高円寺南 1-2-1）

内容に関する お問い合わせ先

一般財団法人 日本科学技術連盟 品質経営研修センター TQM チーム
TEL: 03-5378-1213 / FAX: 03-5378-9842 / E-mail: tqmsemin@juse.or.jp

お申込み先

下記申込書に必要事項をご記入のうえ、郵送、FAX、E-mail などでご記入ください。
〒163-0704 東京都新宿区西新宿 2-7-1 小田急第一生命ビル 4F
一般財団法人 日本科学技術連盟 「セミナー受付係」宛
TEL: 03-5990-5849（直通） / FAX: 03-3344-3022 / E-mail: regist@juse.or.jp
※お申し込み後、開催の約3週間前に「開催のご案内」（カリキュラム・会場地図などのお知らせ）「参加券」「請求書」等の必要書類を連絡担当者の方宛に郵送いたします。なお、お支払いについての詳細は請求書に記載してあります。

2020年度 セミナー申込書

申込日： 年 月 日

回数	コース名	開講日	開催地
第 回	TQMセミナー入門コース	月 日	東京

No	参加者名	事業所・所属・役職	所在地（〒・住所）	TEL

※No 欄は記入しないでください。

連絡担当者名	会社名
事業所・所属・役職	
所在地	〒
TEL	FAX
E-mail	
賛助会員	☐ 一般 ☐ 賛助会員（会員番号： ）

参加費	人数	合計額
円	× 人 =	円

【キャンセルの取扱いとお願い】

お申し込みをいただいた後、止むを得ない事由により参加者の都合が悪くなった場合には、できるだけ代理の方のご参加をお願いします。参加をキャンセルする場合には、セミナー受付に E-mail または FAX にて事前にご連絡をお願いします。なお、その際、ご連絡の日により次のキャンセル料をご負担いただきます。

【キャンセル料】

- 開催日の 7 営業日から 2 営業日前のキャンセル——参加費の 20%
- 開催日の 1 営業日前の 17：00 までのキャンセル——参加費の 50%
- 開催日の 1 営業日前の 17：00 以降のキャンセル
または事前のご連絡がなかった場合 ——参加費の 100%

※ ご記入いただいた個人情報は、参加申込受付処理、セミナー運営ならびに日科技連からのセミナー情報送付のために使用いたします。その際、宛名データを外部に委託する場合がありますのであらかじめご了承ください。ただし、ご要望があればご案内を速やかに中止いたします。また、当該個人情報は日科技連「個人情報保護方針」に基づいて管理いたします。

※参加費は、消費税抜きの金額です。

2020年度は、消費税軽減措置法の総額表示義務の特例により、税抜価格を表示させていただいております。

現在の消費税（10%）を税抜価格とあわせて請求させていただきます。

【ライブ配信】

- セミナー開催日の7営業日前～6営業日前のキャンセル——参加費の20%
- セミナー開催日の5営業日前～4営業日前のキャンセル——参加費の50%
- セミナー開催日の3営業日前（テキスト、講義補助資料等の資料を郵送後）からのキャンセルまたは事前のご連絡がなかった場合——参加費の100%